

2017 鈴鹿8時間耐久ロードレース

Result

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
2'09.955	16	211	8:02'05.367	5Laps	2'09.439	9位

Setting Data

日付	2017年7月30日(日)		時間	11:30 ~ 19:30		イベント	"Coca-Cola" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race				
天気	曇り		マシン	GSX-R1000 L6		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno ジョシュ・ウォーターズ Joshua Waters 青木宣篤 Nobuatsu Aoki				
コース	名称	鈴鹿サーキット				気温	28 °C				
	コンディション	DRY/WET				気圧	1010 hpa				
	路面温度	29 °C	(計測時間 11:20)			湿度	60 %				
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10				エンジンOIL	SUNOCO REDFOX 10W-40				
	ファイナルレシオ	15 × 42 (2.8)				チェーンリンク数	RK 525HRV5	118	リンク		
トランスミッション	1st	B (35/16)	2.18		4th	B (31/21)	1.48				
	2nd	B (34/18)	1.89		5th	B (21/28)	1.33				
	3rd	B (36/22)	1.64		6th	B (26/21)	1.24				
フロント	パーツ名	SHOWA(750mm)				TEN	-6 段				
	スプリング	10.50 N/m				OIL	SNR7				
	トップアウトスプリング	1	N/mm	130	mm	油面	470 mm				
	イニシャル	8 mm				残ストローク	— mm				
	COMP	-15 段				突き出し	— mm				
リア	パーツ名	SHOWA(370mm)				リンク	SPL				
	スプリング	96.1 N/m				リンクロッド	148 mm				
	トップアウトスプリング	120	N/mm	10	mm	車高	STD+ 24.5 mm				
	イニシャル	12.5 mm				ピボット位置	-4 mm				
	COMP	-10 段				スイング長	617 mm				
	TEN	-10 段				残ストローク	— mm				
タイヤ	フロント					リア					
	銘柄	ブリヂストン RACING BATTLAX V02				銘柄	ブリヂストン RACING BATTLAX V02				
	サイズ	120/60R17				サイズ	190/65/17				
	エア圧	1.8				エア圧	1.4				
チェック	順位	9 位				ベストラップ	2' 08" 972 (Joshua選手) 2' 10" 432 (今野選手) 2' 10" 462 (青木選手)				
	水温	98 °C				油温	140 °C				
	ガソリン	IN	-		ℓ	走行距離	211LAP × 5.821Km = 1228.2 km				
OUT		-		ℓ	燃費	km/ℓ					

<コメント>

皆様お久しぶりです！お待たせいたしました。ついに2017年鈴鹿8耐が始まりました。
今年もライダーのメンバーは昨年同じ今野選手、ジョシュ選手と青木選手の三人で戦います！
大きな変更点はサスペンションメーカーが『SHOWA』へ変更となりました。
今年は諸事情により全日本前半戦にエントリーしていませんでしたので7月のテストから走行が始まりました。
タイヤは昨年から全日本前半戦の流れを見ていたので大きく戸惑うことはありませんでした。
車両とタイヤは昨年とほぼ同じ、変更はサスのみです。限られた走行時間の中様々なセットアップを試していきま
事前テストの路面温度は50度を超えてドライで走行が出来た時が多く、セットを変更しながらデータを蓄積していきます。
サスペンション変更のセットアップに時間がかかるのは覚悟していましたが、一回目のテスト、二回目のテストを終えても
なかなか納得できる感じにはなりませんでした。
さらにエンジン仕様も昨年よりも出力が上がり高回転タイプになった為、燃費の確保がかなり厳しい状況になってしまいました。
その為作戦を変更し予定の7回PITから8回PITにし、ライダー三人のアベレージタイムを上げて昨年と同周回数を目指します。
今年も燃料計(残ガス計測装置)は『SPECIAL AGENT』様にご協力頂き、使用燃料と計測値の誤差が無く完璧な状態です。
さて、数日前に梅雨明け宣言もされてレースウィークが始まりました。
初日の走行は雨の影響もあり路面温度が上がらずセットの確認が少し遅れました。しかし燃費や走行データを収集して
翌日の予選に向けて車両のセットを振ります。事前テストではバネレートの選定をするために大きく振っておいたので
レースウィークではこの辺りという見当をつけます。フロントのレートは昨年より硬くなりました。サスペンションメーカーの違い
で伸び縮みのタイミングも変わるためレートも変わってしまいます。
予選前の走行で大きく変更したセットの車両を乗り比べてタイムを出す車両を決めます。車体を高めにした車両の方が
フィーリングが良かったためそのセットで、ジョシュ選手が予選アタックし2' 08" 972を出しました。
そのまま青木選手も2' 10" 462、今野選手も2' 10" 432と思ったほどタイムが伸びず、16番手で決勝を迎えることに。
土曜日の走行もセットアップに費やし、データとコメントを確認して朝フリー走行前にセットを変更。このアジャストがいい方向で
ようやく戦える形になりました。いよいよ決勝がスタート！ジョシュ選手が最高のスタートを決めて大幅に順位を上げて着実に
周回を重ね、決勝レース中に9秒台でラップ！しかし決勝中の燃費が悪く予定周回数より早めにピットインしてしまうことに。
ここで活躍したのが『SPECIAL AGENT』製の残ガス計です。サインボードの周回数よりも残ガス計の警告灯が早く点灯し、
その情報をもとにピットインしてきました。この装置が無ければ最悪の場合ガス欠によるストップもあり得ました。
やはり燃費が悪く予定していた8回ピットではどうしても1周足りず、最後にもう一回給油のためにピットインすることに。
給油後青木選手が最後のセッション6周を走り切り9位でゴール！
今年の8耐は予定通りに行かないことが多く課題の残るレースになってしまいました。
さらにご協力ご支援いただきました各企業様、ファンの皆様の熱い声援にお礼申し上げます。ありがとうございました。
次回は全日本選手権MOTEGI 2&4レースです。
皆様とお会いできるのを楽しみにしています！

Sサプライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。

S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>

S SUPPLY twitter @SSUPPLY__

(株)Sサプライ
畑中 健太郎

